

“「人権啓発学習・出前講座」でのお話、お引き受けします！”



地域の皆様！研修会などで「人権に関する啓発講座」に取り組みたい方は、ふれあい文化センターでは「人権に関する出前講座」を行っています。地域の高齢者教室や女性の会、社会福祉協議会での研修として、ぜひご利用ください。短時間でもOK。ミニ研修講話としてのご利用も可能です。費用は「無料」。これは魅力的だと思います。内容や時間は、希望に沿うようにいたします。「ちょっと気になるな。」という方や団体の関係者の皆様、ご連絡ください。

連絡先) ふれあい文化センター事務所 担当) 小林 ☎ 366-7310



### 「人権啓発作品募集！！」

人権についての理解と認識を深め、人権尊重の意識を高めることを目的に、人権啓発に関する作品を募集します。応募〆切は、～9月12日（火）。

「標語・川柳・肥後狂句・ポスター・絵手紙」の作品を「作ってみたよ。応募してみようかな。」と思う方は、応募用紙はふれ文にあります！皆様がたの数多くの応募をお待ちしています！作品を直接当ふれあい文化センターにお届けいただくと受付が出来ます！！

「お待ちしております！」

### じんけんコラム ホツと♡スペース

ひとにやさしい、じぶんによさしい  
あたたかい話題をとどけます！

### 識字率 100%で世界を平和に



文字を読み書きし理解できること、またその能力のことを識字（しきじ）といいます。日本では子どもや若年層にほとんどいませんが、戦中・戦後に子ども時代を過ごした世代には文字を奪われた方がいらっやいます。また現在、学校に通えていない子どももいることも知っておかなければなりません。戦争や貧困、差別などが文字を奪うのです。

読み書きができるということは物事を理解したり、自分の思いや考えを伝えたりできるということです。これは教育の基礎であり、社会や経済の発展にも深く結びついている重要な能力です。

毎年9月8日は「国際識字デー」です。教育のあり方について話し合う会議でイラン国王が各国の軍事費の一部を識字教育に充てることを提案し、1966年9月8日、ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）が国際識字デーを制定しました。世界中の国々や人々に識字の重要性を訴え、世界の識字率を向上させることを目的としています。

世界には日本の人口の約7倍の非識字者がいるとされています。戦争、貧困、差別などをなくす取り組みが、世界の平和と人々の幸福につながることを信じて、私たち一人一人が識字率100%になる一歩をふみ出しましょう。

### 弁護士による電話法律相談（無料）

相談日：9月 9日（土）〔受付：8月28日～〕  
9月30日（土）〔受付：9月11日～〕

時間：午前9時～正午（相談は1人30分間）

定員：6名（事前に予約が必要です。）

予約：電話か窓口 ※対面相談です。

詳しくは、ふれあい文化センターまで（☎096-366-7310）



最新情報については、ふれあい文化センターホームページをご覧ください。

回覧

KAKEHASHI

9月号

広報誌第567号  
2023.9.1 発行  
熊本市配布文書 第3号

かけはし



発行：  
ふれあい文化センター  
TEL 366-7310  
西原公園児童館  
TEL 371-4090

人権一口講座

「生きづらさを解消するには」

「自分らしく生きたい。」先日最高裁判決で、トランスジェンダーの経済産業省職員が逆転勝訴となつたという記事が大きく取り上げられていました。  
職員は、戸籍上は男性で心は女性である性同一性障害と診断された方で、職場に対して女性用トイレを使いたいと要望したものの、職場フロアから上下2階以上離れたトイレを使用するよう制限を受けるなど様々な不遇な扱いを受け提訴に至つたということです。裁判は8年近く及んだということ、判決が出るまで不慣れた勤務を強いられてきたことは裁量権の乱用と結論付けられました。  
性的少数者当事者の立場を重んじた判決であり、今後も起こり得る同様の裁判に影響していくことでしょう。  
この判決が出る前、本年6月に「LGBT理解増進法」が成立しました。法律自体が不要という意見もある中で、法律ができたことは一歩前進したと思えます。  
ただし、当事者団体側には法律の条文に反発的な意見もあるようです。この法律が施行されることで、性的少数者の立場の人々が性的少数者の方々の実情や苦しみを深く理解し、不利益や我慢など強いことが無い社会に変わって行くよう国などの施策が展開されていくことを期待したいと思います。

生きづらさを苦にして自殺に至る当事者がいることを知り心を痛めました。  
正しい理解を進め、生きづらさを解消するには、すべての人々がお互いの人権を尊重していくという共通認識が必要だと思っております。少数者が生きやすい社会へと進んでいくことを望みます。

### 短いメッセージ

どうしたのぼくがいるからだいじょぶだよ  
ぼくになんでもはなしてね

熊本市・熊本市教育委員会・熊本市人権啓発市民協議会 人権カレンダー  
桜木小学校 一年 藤本 惺吾さんの作品より





# 西原公園児童館からのお知らせ

熊本市中央区九品寺4丁目24-4  
電話 096-371-4090  
FAX 096-371-4143



## 令和5年度(2023年)短期クラブ員募集(10月~1月)

- 1 申込期間 令和5年9月1日(金)~9月15日(金)
- 2 申込開始日 令和5年9月1日(金)
- 3 申込方法 電話 ※先着順

(クラブ名)	(対象)	(時間)	(定員)	(会費)
珠算	小学3年~6年	(土曜日) 11:00~12:00	15名	600円
※ そろばん23桁・筆記用具持参				
書道①	小学3年~6年	(土曜日) 13:30~15:00	15名	無料
※ 書道道具・新聞紙持参				
書道②	小学3年~6年	(土曜日) 15:00~16:30	15名	無料
※ 書道道具・新聞紙持参				
硬筆	小学1年~2年	(第2土曜) 14:00~15:00	15名	無料
※ 2B以上の鉛筆・消しゴム持参				

## 令和5年(2023年)9月「朝の活動」

対象者 1歳半~就園前の幼児とその保護者

日時 13日(水) 傘袋で秋の味覚サンマをつくろう  
20日(水) ポリ袋で黒ネコを作るよ  
27日(水) 10月のカレンダーづくり

時間 10時00分~11時00分

定員 4組(1組2名)

参加費 無料

申込期間 9月1日(金)午前9時から活動日の前日まで  
定員制、事前予約制。(窓口・電話) ※定員になり次第締切  
(問い合わせ) 096-371-4090



## 短期講座のお知らせ

### ..... 「みんなで卓球」講座 .....

- 講師：中井健吾先生 ○対象：どなたでも ○定員：16名
- 日時：9月13・27日、10月11・25日、11月8・22日  
12月13・27、来年1月10・24日、2月7・28日  
【全12回】水曜日 午後1時半~3時半
- 準備物：ラケット、室内用運動靴、タオル、水筒、運動ができる服装
- 参加費：無料
- 申込締切：9月7日(木)必着**
- ・往復はがきでの申込
- ・または、はがき持参で窓口申込



「はがきの記入」	送信面(表) 860-0811 熊本市中央区本荘4-6-6 熊本市ふれあい文化センター(宛)
	(裏) 講座名、郵便番号、住所、氏名、年代、電話番号、 校区、(当センターでの経験の有無)
	返信面(表) ご自身の住所・名前 (裏) ※何も書かないでください。

## ふれあい文化センター図書室 蔵書は約8000冊。

人気の本が意外とすぐに借りれます！ぜひ立ち寄ってご利用ください。

月曜日から土曜日(日曜・祝日は休館) 午前10時~正午、午後1時~5時

貸し出し：2週間に2冊まで

- 貸し出しと返却のみ行っています。
- 室内での滞在閲覧(読書)は出来ません。選書は短時間でお願ひします。

### ★★おすすめの本★★

	書名	著者名	お薦めコメント
1	君のクイズ	小川 哲	クイズプレイヤーの思考と世界がまるごと体験できる。そして読後、あなたの「知る」は更新される。
2	たりの生活	群 ようこ	いくら捨てても、どうして次から次へと物が出てくるのか？身軽な生活を手にするための引越しエッセイ。
3	我慢して生きるほど人生は長くない	鈴木 裕介	我慢すぎて疲れてしまった人へ。もっと楽しく生きるための28のこと。
4	痛みや不調がスッキリ消える！70歳からの椅子筋トレ	枝光 聖人	腰痛、ひざ痛、肩こり、疲れ...症状別でピンポイントに解消。座って無理なく安全に。
5	やる気1%ごはん テキトーでも美味しくつくれる悶絶レシピ500	まるみ キッチン	料理の労力を最小化した名おかず500品！この1冊でぜんぶ解決！
6	魔女と過ごした七日間	東野 圭吾	その夏、信じられないことばかり起きた。「ラブラスの魔女」シリーズ最新作。
7	マンガ ぼけ日和	矢部 太郎	認知症患者とその家族の日常を描く。笑って、泣けて、不安がやわらぐ本です。

熊本市ふれあい文化センター 所在地：熊本市中央区本荘4丁目6-6 電話：366-7310

Web: [ふれあい文化センター](#) [検索](#) 詳しい情報は、Web にアップしています。

※受講に際し、特別に配慮が必要な場合、遠慮なくご相談ください。